

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2019 年度日本陸上競技連盟規則、ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 札幌市円山公園陸上競技場使用上の注意

- 1) 当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) 競技開始後はフィールド内での練習を禁止する。
- 3) 練習場所については本競技場にはサブトラックがないため、トラック外側のスペースを使用してもよい。ただし、ホームストレートの使用は禁止する。バックストレートを使用する競技が行われていないときに限り、バックストレートを使用することができる。
- 4) トラックを使用しての練習は競技開始の 15 分前までとする。
- 5) 事故防止のため、逆走はしないこと。
- 6) 投擲種目の練習は係の指示に従うこと。また、芝に空いた穴は修復すること。

3. ナンバーカードについて

- 1) 男子の北海道学連登録の競技者は、各自の学連ナンバーカードを使用すること。東北・北信越学連登録の男子の競技者は代表者会議で配布するナンバーカードを使用する。
- 2) 女子の競技者は各自の学連ナンバーカードを使用すること。
- 3) まだナンバーカードを受け取っていない競技者には、受付の際に団体ごとにナンバーカードを配布する。
- 4) トラック競技の場合は、腰ナンバーカードをつける。また、3000mSC、5000m、10000m、10000mW の出場者は通しナンバーカードをつける。(両方とも招集の際に競技者係で配布する。レース終了後、決勝点付近で速やかに返却すること。)

4. 招集について

- 1) 招集場所は 100m スタート後方とする。
- 2) 競技者が他の種目に出場中の場合のみ、代理人による点呼を認める。
- 3) 同一時間に複数種目に出場する場合、多種目出場届(本部受付に用意)に記入し、競技者係に提出すること。
- 4) **招集完了時間に遅れると、当該種目を棄権したものとみなすので、注意すること。**
- 5) リレー種目は、オーダー用紙(本部受付に用意)に走順・ナンバー・名前を記入し、**招集完了の1時間前**までに競技者係に提出すること。
- 6) 混成競技の招集は、その日の最初の種目のみ招集を行い、以後の招集は行わない。競技者は次の種目の実施場所に移動し、混成競技者係の指示を受ける。

5. 棄権について

大会当日、やむなく棄権する場合は、棄権届けに必要な事項を記入し、競技者係と本部へ提出すること。棄権届けは大会受付にあるので、取りに来ること。

6. 競技の抽選・番組編成について

- 1) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の順による。
- 2) 準決勝以降の組み合わせ、およびレーン順は主催者が抽選する。

- 3) 代表者会議にて棄権者多数により、予選ラウンドが行われない競技については、選手の最高記録を考慮して決勝ラウンドの番組編成を行う。

7. 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものをを使用すること。ただし、棒高跳用ポール及び投擲物は個人所有のものを使用することができる。(投擲物は招集完了時間1時間前に用器具庫で各々検査を受けて許可されたものに限る)この投擲物は他の競技者も使用できる。

8. トラック競技について

- 1) すべて写真判定とするが、万一機器が故障した場合は、手動計時に切り替えて継続する。
- 2) **スタートの合図は英語で行う。**
- 3) 次の種目は、競技進行に遅れを生じさせる恐れがある場合のみ、以下の制限時間で打ち切ることがある。。
また、この制限時間は変更の場合がある。

| | | | |
|-----------|--------|-----------|--------|
| 男子5000m | 18分00秒 | 女子5000m | 22分00秒 |
| 男子10000m | 40分00秒 | 女子10000m | 45分00秒 |
| 男子10000mW | 65分00秒 | 女子10000mW | 70分00秒 |
| 男子3000mSC | 15分00秒 | 女子3000mSC | 18分00秒 |

9. フィールド競技について

- 1) 走幅跳・三段跳、および投擲種目は全員が3回の試技を行い、それまでの記録の上位8名はさらに3回の試技を行う。
- 2) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- 3) 跳躍競技でのバーの上げ方は下記の通りとするが、状況により変更することもあり得る。
特に棒高跳はバー止の付け替えの関係で変更することもあり得る。

| | | |
|---------|---------|------------------------------|
| 男子走高跳 | 練習 1m70 | 試技 1m75 より 5cm 1m95 より 3cm |
| 女子走高跳 | 練習 1m40 | 試技 1m40 より 5cm 1m70 より 3cm |
| 男子棒高跳 | 練習 3m00 | 試技 3m00 より 10cm |
| 女子棒高跳 | 練習 2m00 | 試技 2m10 より 10cm |
| 男子混成走高跳 | 練習 1m45 | 試技 1m50 より 5cm 1m80 より 3cm |
| 男子混成棒高跳 | 練習 2m80 | 試技 2m80 より 10cm 4m00 より 10cm |
| 女子混成走高跳 | 練習 1m20 | 試技 1m25 より 5cm 1m45 より 3cm |

- 4) 走幅跳・三段跳は2つのピットにわかれて行う。
走幅跳では、男子5m00、女子4m00に満たない記録は、計測しない。
三段跳では、男子は10m板または12m板を、女子は8m板または10m板を使用する。
- 5) タイムテーブルおよび参加人数上、男女同時に行うことがある。

10. 抗議について

- 1) 競技進行中に起きた競技者の行為、または競技成績に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表(アナウンス)されてから30分以内に、総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなされる。
- 2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。その裁定を不服とし、さらに抗議する場合は抗議申立書と預託金

10,000 円を添えて上訴する。この預託金は抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

3) この間の事務処理は総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

11. 表彰について

- 1) 各種目第3位までの入賞者を表彰するので、該当者は競技終了後、アナウンスが掛かり次第、大会本部に集合すること。また、8位までの入賞者に賞状を授与するので、競技終了後、表彰係より受け取ること。
- 2) 対校得点については、1位－8点、2位－7点、3位－6点、4位－5点、5位－4点、6位－3点、7位－2点、8位－1点、とする。対校得点と同点の場合は優勝種目数の多い方を上位とする。

12. 第88回日本学生陸上競技対校選手権大会（日本インカレ）へのエントリーについて

各種目の優勝者には標記競技会（9月12日（木）～15日（日）（岐阜・長良川））に出場標準 C 記録突破者扱いで参加する権利が与えられる。詳細は標記競技会の要項を参照のこと。

13. その他

- 1) 開会式・閉会式は特別な理由（招集等）がない限り、必ず出席すること。その際に部旗がある大学は必ず持参すること。
- 2) 競技者の衣類の管理は、すべて各自で行うこと。※役員・補助員による運搬は行わない。
- 3) 盗難・紛失について、主催者で受領した物品等については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。なお、主催者で受領した物品等は大会本部で管理する。
- 4) 主催者が受領した物品はホームページ等に掲載した後、今年度の全競技会終了後主催者側で処分する。
- 5) 競技中の事故等による身体の故障の場合、応急処置を行うが、その後の治療等は本人負担とする（競技者保険の適用）。また、事故の結果について本連盟は一切責任を負わない。
- 6) 集団応援は、メインスタンド以外の区域で行うこと。
- 7) 開門時間は、ホームページ及びアスリートランキングにて発表する。加盟校にはメールにて発表する。
- 8) 開催協力校に当たっている大学のみ、開門時間の15分前に入場できる。
- 9) **大会期間中に出たゴミは、必ず各自で持ち帰ること。**
- 10) 競技者（選手）がカメラで撮影されることによって嫌悪や不安に感じられる場所からの撮影は禁止する。また、撮影をしている場所によっては不審と判断された場合、競技役員が注意・指導、撮影内容の確認をする場合がある。
- 11) 不審者等いたら、大会本部まで連絡すること。
- 12) その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。